



## 校長講話「失敗 OK！ でも失敗したらどうするか」



ゴールデンウィーク以降、寒暖の差が激しく体調を崩してお休みするお子さんも出てきています。ご家庭でも丹波市が推奨している「早寝早起き朝ごはん」を通して生活リズムを整えていただき、元気に登校できるようにお願いいたします。

さて、今日は5月の校長講話朝会をさせていただきました。開校式以降、竹山小学校は『失敗OK』を合言葉にしてきており、先生方の学年通信や授業中の子どもたちの「失敗OKやで」の会話を聞く場面もあり、浸透してきた感があります。

そこで、今日は「失敗したらどうしたらいいのか」を、

子どもたちと一緒に考えました。

子どもたちに失敗話を尋ねると、「挙げた手が誤って友だちに



# おうえんで きるなかま

あたってしまった、〇〇さんが泣いてしまった。ごめんなさい」「忘れ物をして、お家の人と一緒に取りに来た」「逆上がりをしたけどうまくできなかった」などなど、みんなの前で自分の失敗を話すことは勇気がいることだと思うのですが、発表できる子どもはすごいと思いました。

いろいろな失敗談を聞いた後に、失敗した時に大事なことは「やりなおしたらいい」という話をしました。「誤って手があたった子は、もちろん相手にごめんなさいと謝っています。ただ、誤って終わりではなく、次は気をつけようと思うこと、行動を変えることが大事なんです」「逆上

がりが上手くいかなかった子もあきらめずに何度も挑戦したようです」

また、失敗した子が何度も挑戦できるように『応援できるなかま』も大事だねと話して、それぞれ学年、グループごとに頑張っていることを話し合わせると、

「やさしく声をかける」「注意を素直に聞く」

「うまくいかなくても切りかえる」「挑戦する」



などの子どもたちの発表から、日ごろ先生方が子どもたちと一生懸命取り組んでいることが子どもたちと共有できていると感じました。

業間時間は、1・2年生の子たちが鉄棒に繰り返し挑戦していました。できるようになったという結果までに、子どもたちは何度も挑戦したり、励まし合ったり、何度やってもうまくいかなかった自分の気持ちを切り替えたりと『自分の気持ちと向き合う学びと



育ち』をしています。自分の想いや考えと違った時に、その気持ちや相手の人とどう向き合うかは我々大人も同じです。子どもたちの素敵な姿から学ぶことが多くあった1日でした。